

2016年7月14日

**Dolby Atmos[®]*1 & DTS:X[™]*2、ハイレゾ再生、4K映像対応。低歪パワーアンプなど
高音質も追求したデュアル7.1ch ネットワークAVレシーバー2機種を新発売**

ヤマハ AVレシーバー 『RX-A860』 『RX-V781』

ヤマハ株式会社は、Dolby Atmos[®]&DTS:X[™]再生、ハイレゾ再生、4K映像に対応し、さらにフルディスクリート構成7ch 低歪パワーアンプ やデュアル7.1ch システムなどの採用によって高純度な音質とホームシアターの多様な楽しみを追求したWi-Fi&Bluetooth[®]内蔵のデュアル7.1ch ネットワークAVレシーバー『RX-A860』と『RX-V781』の2機種を、それぞれ7月下旬より全国で発売いたします。

*1: Dolby Atmos[®](ドルビーアトモス) = ドルビーラボラトリーズ社が開発した最新の3次元サラウンドフォーマット。

*2: DTS:X[™](ディーティーエス エックス) = DTS社が開発した最新の3次元サラウンドフォーマット。

<価格と発売時期>

品名	モデル名	色	本体価格	当初月産予定台数	発売時期
AVレシーバー	RX-A860	(H)チタン	110,000円(税抜)	3,000台	7月下旬
AVレシーバー	RX-V781	(B)ブラック	96,000円(税抜)	3,000台	7月下旬

<製品の概要>

今回発売する『RX-A860』『RX-V781』は、最新の3次元サラウンドフォーマットであるDolby Atmos[®]、およびDTS:X[™]に対応したWi-Fi&Bluetooth[®]内蔵のデュアル7.1ch ネットワークAVレシーバーです。定格出力130W/chのフルディスクリート構成7ch 低歪パワーアンプやローム社との共同開発によるヤマハオリジナルの高精度ボリューム素子、グラウンド周辺の相互干渉を排除するD.O.P.G.(DAC on Pure Ground)コンセプトなどを採用した音質最優先設計に加えて、入力信号に応じてフロントプレゼンス/サラウンドバックスピーカーが自動的に切り替わる独自のデュアル7.1ch システムや室内の音響特性を本質的に改善するYPAO-R.S.C.などにより、ユーザーひとりひとりの使用条件にマッチしたホームシアターの多様な楽しみを追求しました。ヤマハオリジナル・ネットワークモジュールの搭載でハイレゾ音源の高品位再生を実現するネットワークオーディオ部はDSD5.6MHz、AIFF/WAV/FLAC 192kHz/24bit、Apple Lossless 96kHz/24bit 再生をサポートするほか、インターネットラジオは新たにradiko.jpプレミアムにも対応しました。さらに、次世代のUltra HD Blu-ray規格に規定されたHDR^{*1}映像伝送やBT.2020^{*2}映像伝送、最新の著作権保護技術であるHDCP2.2^{*3}、4K/60p^{*4}映像信号に対応したHDMI端子も装備しています。

*1: HDR(ハイダイナミックレンジ)映像伝送 = 従来よりも幅広い明暗のダイナミックレンジを持つ映像信号の伝送を可能にする技術のことで、4Kテレビや次世代のUltra HD Blu-ray、映像配信サービスなどでの導入が期待されています。 *2: BT.2020 = ITU-R 勧告に定められたUltra HDTV(4K/8K)の色域規格。 *3: HDCP2.2 = 4K映像伝送に対応した最新のデジタル著作権保護技術。 *4: 4K/60p = 4K(4,096×2,160画素)の解像度を持つ映像を、1秒間に60コマで表示すること。



左からRX-V781/RX-A860

【RX-A860/RX-V781 主な共通特長】

1. 最新の3次元サラウンドフォーマット、「Dolby Atmos®」および「DTS:X™」対応デコーダーを搭載
2. シネマ DSP<3D モード>がもたらす臨場感と、それを支える音質最優先設計
 - ・フルディスクリート構成 7ch 低歪パワーアンプ、4 回路分離パワーサプライなどを採用
 - ・ローム社と共同開発した高精度ボリューム素子、ルビコン社と共同開発した PML コンデンサーなどのヤマハオリジナルパーツを投入
 - ・フロントプレゼンス/サラウンドバックスピーカーを自動選択する独自のデュアル 7.1ch システムを装備
 - ・初期反射音を積極的に制御する「YPAO-R.S.C」を搭載
3. HDR、BT.2020、HDCP2.2、4K/60p パススルー & 4K アップスケーリングに対応した HDMI 端子
4. ネットワークオーディオ機能
 - ・高精度ロージッタークロック内蔵のヤマハオリジナル・ネットワークモジュール
 - ・DSD 5.6MHz、AIFF/WAV/FLAC 192kHz/24bit、Apple Lossless 96kHz/24bit 再生をサポート
 - ・家庭内ネットワークへ無線 LAN 経由で接続できる Wi-Fi 内蔵型
 - ・radiko.jp プレミアム（エリアフリー聴取）にも対応したインターネットラジオ機能
5. 対応機器間での音楽コンテンツの配信・共有・リンク再生がひとつのアプリで行える「MusicCast®」に対応
6. スマートフォンなどからの音声をワイヤレス再生でき、また本機の音声を外部機器で再生可能な Bluetooth®オーディオ機能を搭載

【RX-A860 主な特長】

1. AVENTAGE 基準の制振技術を採用したチューンドモデル
2. 5年間の長期製品保証

<RX-A860/RX-V781 主な共通特長>

1. 最新の3次元サラウンドフォーマット、「Dolby Atmos®」および「DTS:X™」対応デコーダーを搭載



ドルビーラボラトリーズ社が開発した Dolby Atmos®(ドルビーアトモス)や DTS 社が開発した DTS:X™(ディーティーエス エックス)など、最新の3次元サラウンドフォーマットに対応したサラウンドデコーダーを搭載しました。個々の音を、頭上を含めた室内のどの位置にも定位または移動させ、3次元的な音響空間を簡単に創り上げることのできるこの技術への対応により、最新映画で話題のリアルな包囲感や移動感を家庭のシアタールームで楽しめます。5.1.2ch スピーカー構成に対応し、プレゼンスピーカーはフロントスピーカー上方壁に設置する「フロントハイト」、天井に設置する「オーバーヘッド」、「ドルビーイネーブルドスピーカー」の3パターンから選択できます。またDTS:X™再生時には「DTS ダイアログコントロール*」でセリフ音量の単独調整も可能です。

*:本機能は DTS ダイアログコントロール対応の DTS:X™コンテンツ再生時に限り有効です。



「フロントハイト」設定画面例



「オーバーヘッド」設定画面例

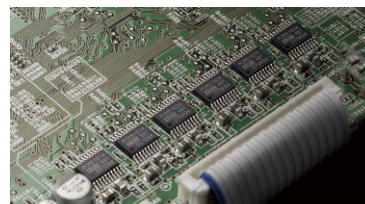


「ドルビーイネーブルドSP」設定画面例

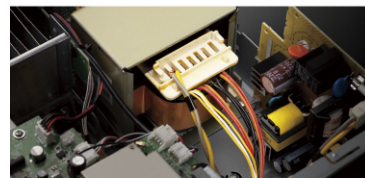
2. シネマ DSP<3D モード>がもたらす臨場感と、それを支える音質最優先設計

●フルディスクリート構成 7ch 低歪パワーアンプ、4 回路分離パワーサプライなどを採用

回路構成の改良でさらなる低歪化を実現した定格出力 130W/ch のフルディスクリート構成 7ch 低歪パワーアンプ、パワーアンプの改良に合わせて開発した電源用ブロックケミコン、オーディオ入力部と D/A コンバーター部の電位差を解消して微小信号の再生品位を高める D.O.P.G. (DAC on Pure Ground) コンセプト、最新世代パープラウン D/A コンバーターなどにより、オーディオアンプとしての優れた資質を追求。外部デジタル入力に含まれるジッター成分を軽減して入力信号の精度を高めるロージッター PLL 回路も搭載しています。いっぽうパワーサプライ(電源部)はデジタル系/映像系/表示系をアナログオーディオ系から独立させた 4 回路分離型とし、電源部を巡るノイズを抑えたクリアな音質と、安定した電源供給に支えられた音の瞬発力を獲得しました。



最新世代パープラウン DAC を採用したオーディオ基板



デジタル系/映像系/オーディオ系/表示系を分けた 4 回路分離パワーサプライ

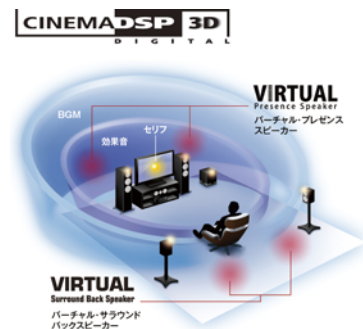
●ローム社と共同開発した高精度ポリウム素子、ルビコン社と共同開発した PML コンデンサーなどのヤマハオリジナルパーツを投入

ローム社と共同開発したヤマハオリジナルの高精度ポリウム素子の投入により、全帯域にわたる高い解像度を実現しました。さらに、電源系からのノイズ除去能力を約 40% (当社比) 改善したヤマハオリジナルの PML コンデンサーをルビコン社と共同開発し、Blu-ray Disc の HD オーディオコンテンツやハイレゾ音源の魅力を活かす明瞭で自然な音の表現力を追求しています。

●フロントプレゼンス/サラウンドバックスピーカーを自動選択する

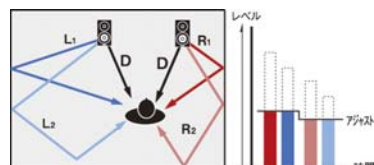
独自のデュアル 7.1ch システムを装備

実際のフロントプレゼンススピーカーを使用したシネマ DSP (3D モード) の 7.1ch 再生と、サラウンドバックスピーカーを使用した 7.1ch 再生とをフロントプレゼンス/サラウンドバックスピーカーの自動切り替えによって完全再生する、独自のデュアル 7.1ch システムを装備しました。さらに、仮想のプレゼンススピーカーをリスニング空間に生成する「バーチャル・プレゼンススピーカー」機能と、仮想のサラウンドバックスピーカーを生成する「バーチャル・サラウンドバックスピーカー」機能も装備し、通常の 5.1ch スピーカー構成でも最大 9.1ch 相当のシネマ DSP (3D モード) 再生が可能です。シネマ DSP の信号処理には、ハイグレード AV レシーバー「AVENTAGE」の上位機種と共通のヤマハオリジナル高性能 DSP デバイス を採用しました。なお本機には、ゾーン 2 出力のオン/オフと連動してフロントプレゼンススピーカーとゾーン 2 スピーカーとを切り替えるスピーカーアサイン機能も装備し、内蔵の 7ch パワーアンプをより有効に活用できます。



●初期反射音を積極的に制御する「YPAO-R.S.C」を搭載

室内の初期反射音を積極的に制御して左右スピーカーの設置環境の違いによる音質・音場の偏りなども補正する「YPAO-R.S.C.」(Reflected Sound Control)、最大 8 地点での計測結果を解析して音質・音場補正に反映させる「マルチポイント計測」、これらの計測結果に基づいて設定音量に応じた均一なサウンドバランスを保つ「YPAO Volume」の 3 つの機能を、視聴環境最適化システム「YPAO」で実現しました。さらに、内蔵のパラメトリック EQ には 3 次元サラウンド再生に特に有効なサブウーファー調整も新たに追加し、Dolby Atmos® & DTS:X™ の立体的な臨場感やハイレゾオーディオの高音質など、あらゆるプログラムソース本来の魅力をも最大限に引き出すことができます。



YPAO-R.S.C. の動作イメージ

室内の壁や床からの不規則な初期反射音はオーディオ(シアター)再生に悪影響を及ぼす原因のひとつです。YPAO-R.S.C. は左右のスピーカーの設置環境が異なる場所での不規則な初期反射音(左図)をデジタル音場処理技術で補正(右図)し、よりバランスの整った視聴空間をつくり出す事ができます。

3. HDR、BT.2020、HDCP2.2、4K/60pパススルー & 4Kアップスケーリングに対応したHDMI端子

最新の著作権保護技術であるHDCP2.2、次世代のUltra HD Blu-ray規格に規定されたHDR映像伝送やBT.2020映像伝送、4K/60p 4:4:4 映像信号*1のパススルー/4Kアップスケーリングに対応した8入力/2出力 (RX-V781は6入力/2出力)のHDMI端子*2を装備し、4K Ultra HDをはじめとするさまざまな映像信号を幅広くサポートします。さらに主要メーカー製テレビ/レコーダーとのリンク機能*3、お手持ちのテレビと本機とをHDMIケーブル1本で接続できるオーディオターンチャンネル (ARC) などにも対応しています。



*1: 4K/60p 映像信号のサポートフォーマットは RGB、YCbCr4:4:4、YCbCr4:2:2、YCbCr4:2:0 です。

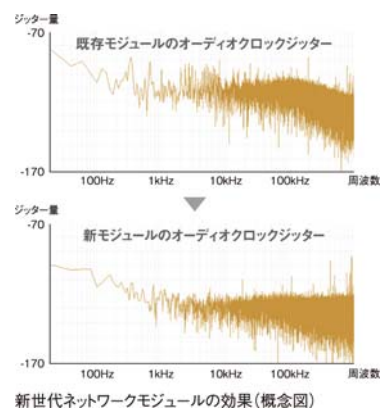
*2: HDCP2.2 および YCbCr4:2:0 以外の 4K/60p 映像信号に対応した HDMI 端子は 3 入力/2 出力です。

*3: HDMI によるリンク機能 (HDMI コントロール) は、本機~対応テレビ (レコーダー) 間を HDMI 接続した場合に実現するものです。対応テレビ機種などの詳細は当社製品サイトでご確認ください。http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/connect/hdmi_ccc/

4. ネットワークオーディオ機能

●高精度ロージッタークロック内蔵のヤマハオリジナル・ネットワークモジュール

ネットワークオーディオの音質を左右するキーデバイスには、高精度ロージッタークロックを内蔵した新世代ヤマハオリジナル・ネットワークモジュールを搭載しました。DSDを含むハイレゾ音源の高品位再生を目指して開発されたこのデバイスは、ネットワーク/USB/Bluetooth®再生におけるジッターノイズの発生を大幅に低減し、さらなる S/N 向上を達成。ハイレゾ音源特有のデリケートな音の違いも忠実に描き分けます。

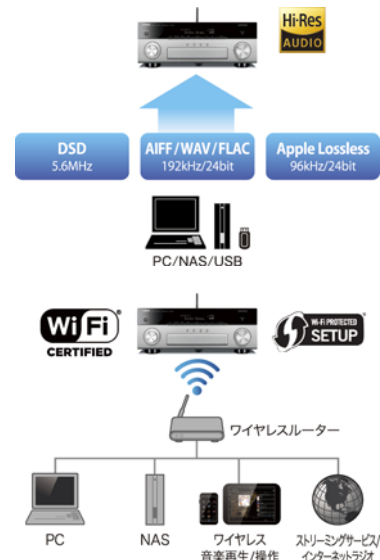


新世代ネットワークモジュールの効果 (概念図)

●DSD 5.6MHz、AIFF/WAV/FLAC 192kHz/24bit、

Apple Lossless 96kHz/24bit 再生をサポート

ネットワークオーディオ部は DSD 5.6MHz 再生、AIFF/WAV/FLAC 192kHz/24bit 再生、Apple Lossless 96kHz/24bit 再生をサポートします。ネットワーク上の音楽コンテンツを再生する際に気になる曲間の音の途切れを解消するギャップレス再生にも対応しています (DSD を除く)。



内蔵Wi-Fi機能の使用例 (家庭内ネットワークにワイヤレス接続)

●家庭内ネットワークへ無線 LAN 経由で接続できる Wi-Fi 内蔵型

家庭内ネットワークへ無線 LAN 経由で接続できる Wi-Fi 機能を内蔵し、LAN ケーブルを接続しなくても、ハイレゾ音源を含むネットワーク上の音楽コンテンツやインターネットラジオの再生、「AV CONTROLLER」アプリでの本機のワイヤレス操作を実現しました。さらに、スマートフォン/タブレット内の音楽コンテンツのワイヤレス再生や、「AV CONTROLLER」での操作などが無線 LAN 環境のない場所で手軽に行える「Wireless Direct」も内蔵しています。

※無線 LAN と有線 LAN との同時接続はできません。Wi-Fi または有線 LAN 接続と Wireless Direct 接続との同時使用はできません。無線 LAN で接続できる距離は環境に依存します。

●radiko.jp プレミアム (エリアフリー聴取)にも対応したインターネットラジオ機能

これまでの vTuner に加えて、日本国内の民放ラジオ局の放送番組をインターネット経由でストリーミング再生する radiko.jp も聴けるインターネットラジオ機能を装備しました。お手持ちのスマートフォンやタブレットに「MusicCast CONTROLLER」アプリ(後述)をインストールすることで、radiko.jp (無料のエリア内聴取) および radiko.jp プレミアム(有料のエリアフリー聴取)に対応します。



日本国内の民放ラジオをストリーミング再生できます。

5. 対応機器間での音楽コンテンツの配信・共有・リンク再生がひとつのアプリで行える「MusicCast®」に対応

家庭内に設置した複数の MusicCast 対応音響機器の操作や、対応機器間での音楽コンテンツの共有などがひとつのアプリで行えるヤマハ独自の新機能「MusicCast®」(ミュージックキャスト)に対応しました。専用アプリケーション「MusicCast CONTROLLER」をお手持ちのスマートフォン/タブレットにインストールすれば、MusicCast 対応機器*と本機との間で音楽コンテンツの配信・共有・リンク(同期)再生を簡単に行うことができます。

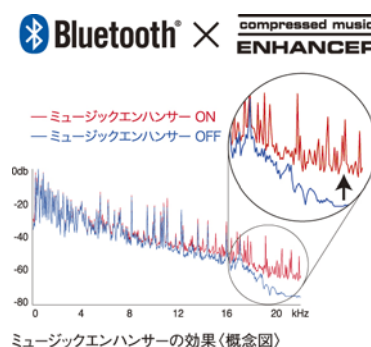
*: 対応機器などの詳細は当社製品サイトでご確認ください。 http://jp.yamaha.com/products/technology/musiccast__j/



6. スマートフォンなどからの音声をワイヤレス再生でき、また本機の音声を外部機器で再生可能な Bluetooth®オーディオ機能を搭載

スマートフォンやタブレットなど、お手持ちの Bluetooth®対応機器の音声を本機でワイヤレス再生(受信)したり、本機の音声*を Bluetooth®対応ヘッドホンやスピーカーなどで聴ける(送信)、Bluetooth®オーディオ機能を搭載しました。本機の Bluetooth®機能(受信)は高音質の AAC フォーマットに対応し、さらに高音域の情報量や低音域の明瞭度が失われがちな圧縮音声を効果的に補正(右図参照)する Bluetooth®対応ミュージックエンハンサーとも相まって、より奥行きのあるクリアな音質を実現しています。

*: AirPlay および DSD の音声は Bluetooth®送信できません。



【その他の特長・機能】 ●FM 補完放送も受信できる 40 局プリセット対応ワイド FM/AM チューナー ●お気に入りのインターネットラジオ局をストレスなく呼び出せるブックマーク&オートプレイ ●コンパクトスピーカーの音に重低音の力感や躍動感をプラスする Extra Bass ●フロントプレゼンス/ゾーン 2、およびフロントバイアンプ/サラウンドバック/ゾーン 2 からそれぞれ選択できるパワーアンプアサイン ●本機側で音量調節が可能なゾーン 2 プリアウト ●シネマ DSP の効果やダイナミックレンジを音量調整に合わせて自動的に制御するアダプティブ DSP レベル&アダプティブ DRC 技術 ●サラウンド再生がお手持ちのヘッドホンで楽しめるサイレントシネマ ●音声信号経路を最短化して入力ソースの音をありのままに再現するピュアダイレクトモード ●接続した機器や入力信号に応じて自動的に入力名を生成するオートリネーム機能 ●HDMI コントロール/スタンバイスルーオフ、ネットワークスタンバイオフ時の待機時消費電力 0.1W の省電力設計 ●一定時間(20 分、2/4/8/12 時間に設定可能)使用しないと自動的に電源がオフになり、電源の切り忘れを防止するオートスタンバイ ●MM カートリッジ対応フォノ入力 ●フロントに加えてアイコンも高精細 HD 化、GUI 画面を採用した多言語対応 OSD (オンスクリーン・ディスプレイ) ●WPS (プッシュボタン/PIN コード) または iOS 設定共有により無線 LAN を簡単設定

<RX-V>シリーズ スペシャルサイト http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/special/rxv_series/

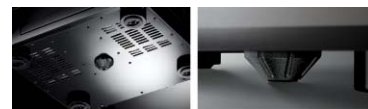
<RX-A860 主な特長>

1. AVENTAGE 基準の制振技術を採用したチューンドモデル

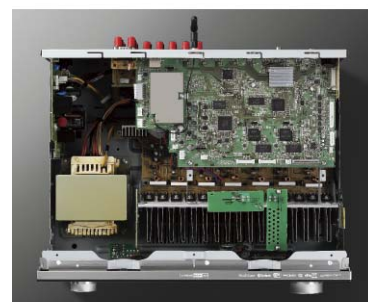
『RX-A860』は『RX-V781』の基本設計をベースとしながら、アンチレゾナンステクノロジー(Anti Resonance Technology)による〈5 番目の脚〉を装着した制振性を高めた筐体や、前面カバーを備えた専用フロントパネルなどを採用して、ハイグレード AV レシーバー「AVENTAGE」の一員にふさわしい仕様・音質へとアップグレードしたチューンドモデルです。タイトで解像度の高い低域に象徴される、確かな音の違いを追求しました。

2. 5 年間の長期製品保証

長期間にわたり安心してご愛用いただけるよう、お買い上げ日より 5 年間のメーカー製品保証を標準で付与しています。



アンチレゾナンステクノロジーによる〈5番目の脚〉



AVENTAGE の設計思想を受け継ぎながら、奥行きを 382mm に抑えて設置性を追求した省スペース設計

<RX-A860/V781 主な仕様>

型番		RX-A860	RX-V781
定格出力	20Hz-20kHz、2ch 駆動	100W/ch (6Ω、0.06% THD)	95W/ch (6Ω、0.06% THD)
	1kHz、1ch 駆動	130W/ch (6Ω、0.9% THD)	130W/ch (6Ω、0.9% THD)
実用最大出力 (JEITA)	1kHz、1ch 駆動	160W/ch (6Ω、10% THD)	160W/ch (6Ω、10% THD)
内蔵パワーアンプ数		7	
音声入力	アナログ	6 系統： RCA 6 (前面入力 1、PHONO 1 含む)	5 系統： RCA 5 (PHONO 1 含む)
	デジタル	4 系統：光 2、同軸 2	
音声入力(その他)		3 系統：USB*1、ネットワーク 1 (Ethernet)、ネットワーク 1 (Wireless) *USB メモリー内ファイルの音声再生用。USB DAC としての機能はありません。	
映像入力		7 系統： コンポーネント 2、コンボジット 5 (前面入力 1)	6 系統： コンポーネント 2、コンボジット 4
音声出力	スピーカー出力	7ch (フロント L/R、センター、サラウンド L/R、サラウンドバック L/R [ZONE2、BI-AMP 兼用]) 拡張スピーカー出力 1: 2ch (フロントプレゼンス/ZONE2)、 拡張スピーカー出力 2: 2ch (サラウンドバック/ZONE2/BI-AMP)	
	PRE OUT	7.2ch (フロント L/R、センター、サラウンド L/R、サラウンドバック L/R、サブウーファー (MONO) × 2)	
	ZONE (ゾーン) OUT	ZONE 2 OUT 1	
	ヘッドホン出力	1	
モニター出力端子	MONITOR OUT	2 系統： コンボジット 1、コンポーネント 1	
HDMI 入力		8 (HDMI 1、2、3 は HDCP2.2 に対応)	6 (HDMI 1、2、3 は HDCP2.2 に対応)
HDMI 出力		2 (HDCP2.2 に対応、同時出力可)	
HDMI パススルー		4K/60p 4:4:4、HDR、BT.2020 伝送対応	
HDMI その他		4Kアップスケーリング対応、アップコンバージョン対応	
ネットワーク 関連機能	Wi-Fi/Wireless Direct	○ (IEEE802.11b/g/n 準拠) / ○	
	DLNA1.5 対応	○	
	音声対応フォーマット (USB、サーバー)	DSD 5.6MHz、Apple Lossless 96kHz/24bit、MPEG4-AAC、 WAV/FLAC/AIFF 192kHz/24bit、MP3、WMA	
	ギャップレス再生	○ (WAV/FLAC/Apple Lossless/AIFF 対応)	
	AirPlay/ミュージックプレイ	○ / ○	
	インターネットラジオ	○ (vTuner、radiko.jp)	
Bluetooth® 再生方式	バージョン	Ver.2.1+EDR	
	対応プロファイル	A2DP/AVRCP	
	対応コーデック	受信時：SBC/AAC、送信時：SBC	
	ワイヤレス出力	Bluetooth Class2	
	最大通信距離	10m (障害物のない見通し距離)	
総サラウンドプログラム数		34 (シネマ DSP プログラム数は 17)	
消費電力		360W	
待機時 消費電力	HDMI コントロール OFF/ スタンバイスルー OFF 時	0.1W	
	HDMI コントロール ON/ スタンバイスルー ON 時	0.4W	
	ネットワークスタンバイ ON 時	Wired: 2.1W Wi-Fi: 2.4W Wireless Direct: 2.4W Bluetooth: 2.1W	
	HDMI コントロール ON/ スタンバイスルー ON/ ネットワークスタンバイ ON 時	Wireless Direct: 3.1W	
寸法 (幅×高さ×奥行)		435W×171H×382D mm (Wi-Fi アンテナ直立時: 435W×234H×382D mm)	435W×171H×381D mm (Wi-Fi アンテナ直立時: 435W×234H×381D mm)
質量		10.5kg	10.6kg
付属品		リモコン、単 4 乾電池 (2 本)、AM アンテナ、FM アンテナ、 YPAO 用マイク、電源コード、取扱説明書、セットアップガイド	



ヤマハ AVレシーバー『RX-A860』カラー:(H)チタン
本体価格 110,000 円(税抜)



前面カバーオープン時



※RX-A860 (H) の画像データは下記ウェブサイトよりダウンロードできます。
http://jp.yamaha.com/news_release/

【製品情報】

ヤマハ AVレシーバー『RX-A860』 http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/av-amplifiers/rx-a860_titan_j/



ヤマハ AVレシーバー『RX-V781』 カラー:(B)ブラック
本体価格 96,000 円(税抜)



※RX-V781(B)の画像データは下記ウェブサイトよりダウンロードできます。
http://jp.yamaha.com/news_release/

【製品情報】

ヤマハ AVレシーバー『RX-V781』 http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/av-amplifiers/rx-v781_black_j/

この件に関するお問い合わせ先

ヤマハ株式会社

■報道関係の方のお問い合わせ先

広報部 宣伝・ブランドマネジメントグループ

窪井、千葉

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

FAX 03-5488-5063

ウェブサイト http://jp.yamaha.com/news_release/

(取材申し込みや広報資料請求が可能です。)

■一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン カスタマーサポート部

お客様コミュニケーションセンター

オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

TEL 0570-011-808 (ナビダイヤル:全国どこからでも市内通話料金)

TEL 053-460-3409 (上記番号でつながらない場合)